

## 地域展開と経営状況について 《これからの施設の方向性として》



特別養護老人ホーム芦別慈恵園  
経営管理係長 深沢覚久

## 法人理念

### 『和顔愛語』

人にやさしい笑顔で  
心は豊かに  
言葉は和やかに

## 慈恵園の特徴①

### ①特別養護老人ホーム

- ◆既存型106名
- ◆個室32室・2人室11室・4人室13室
- ◆一部小規模生活単位型11名
- ◆準ユニット加算(10名)、重度化対応加算、看取り介護体制加算・個別機能訓練加算・栄養ケアマネジメント加算・経口維持加算を算定

## 慈恵園の特徴②

### ②併設型デイサービス

定員24名稼働率100%の取組み

### ③もみじの家

単独型小規模DS(1日平均6名)  
保険外サービスの実施(宿泊・配食)

### ④訪問介護サービス(18年3月事業開始)

在宅介護支援センターの廃止からスタート  
介護福祉士3名(専従2名・特養兼務1名)

## 経営の安定化

### ◆介護保険制度への対応

特養を中心に在宅サービスを開始  
介護保険制度外サービスの検討

### ◆サービスの質の向上

ご利用者の住まいとして生活環境を見直す

### ◆稼働率の向上

各部署で目標を設定し経営を意識する

## 『いままでの取り組み』

### 既存施設でのユニットケア

「介護の転換」⇒平成14年10月  
認知症フロア14名開始

### ①職員を固定

### 個別ケアへの取り組み

### ②環境整備

浴室・キッチン・リビング・ダイニング



### 平成15年度～平成17年度 ユニット・居室改修及び備品に係る経費

フロア名		金額
1階フロア	1階ホール・看護居室・待合室・医務室・一般浴	4,493,402
	ほのぼの	1,622,028
	ひだまり	858,120
西フロア	ほほえみ	1,441,768
	やすらぎ	2,807,048
	ひまわり	4,536,288
	ショート	323,000
東フロア	いこい	685,000
	ふれあい	1,271,500
合 計		18,038,154

### 既存施設でのユニットケア

**人員配置と人材育成について**

- ・夜勤パート職員・7.5時間パートの導入
- ・臨時職員の廃止(14年度導入)
- ・給与規程の見直し(13年度・18年度)
- ・職員研修体系の整備

定着率の向上・知識、技術の修得

18年4月からユニットリーダーを配置

### 新たな取り組み①

地域に根ざした法人経営  
『3ヵ年計画の策定』  
地域密着型への取り組み

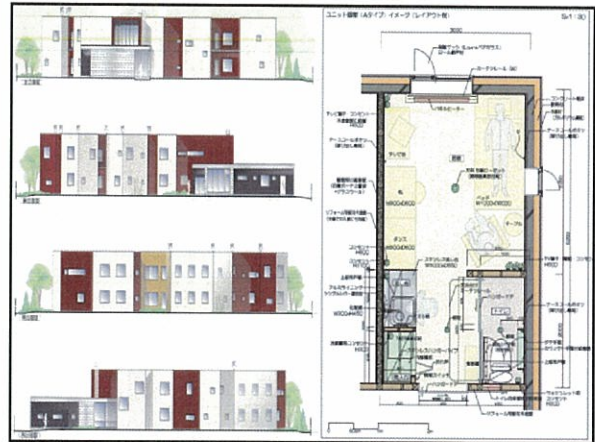
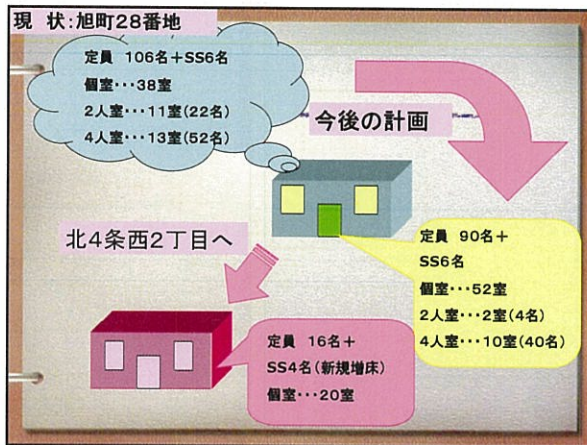
①平成18年8月  
小規模多機能型を目指して  
デイサービスセンターもみじの家開設



### 新たな取り組み②

**サテライト型居住施設の基本方針**  
地域と密着した生活を継続でき、先駆的で  
安心な住まい作りを目指す。

平成17年7月 構造改革特区として認定  
平成18年8月 市町村整備計画に基づき  
43,200,000円の交付金決定  
平成19年度竣工予定



### 活動の成果と評価

地域密着型サービスを展開して…

- ・小規模施設の経営は地域に馴染むための努力が必用
- ・利用者、地域の要望に応える仕組みと新たなサービスへの取組みが必要

⇒経営に大きな影響

現状把握と経営分析が重要

### 21年度介護保険制度改正に向けて①

#### 特別養護老人ホーム

- ・ユニットケア、個別ケアの継続について経営方法を模索
- ・本体改修  
小規模生活単位型1ユニット→4ユニットへ
- ・職員配置、経費、維持費等の見直し
- ・ネットワークづくりが重要(地域・施設間)

### 21年度介護保険制度改正に向けて②

#### 経営管理として…

- ・経営感覚を磨き、品質管理を徹底する。
- ・安定した給与制度の運用と優秀な人材確保のため人事制度を提案し実施する。
- ・役割と責任を果たし、収支状況を確実に把握して、迅速な分析を行う。その分析結果を示し、根拠のある事業展開についての提案を積極的に行う。